

# 千葉葛城会 第11回総会 式次第

令和元年7月6日(土) 18:00 ホテルポートプラザちば 2F

- 1 開会のことば 司 会 井谷事務局長
- 2 黙 禱
- 3 千葉葛城会副会長挨拶 副会長 本 間 充 武
- 4 議長選出
- 5 議 案  
第1号議案 平成30年度事業報告・会計報告について  
第2号議案 平成31年度事業計画・予算案について  
第3号議案 役員改選案
- 6 閉 会

## 懇親会次第

- 1 開会のことば
- 2 来賓ご挨拶 千葉県立千葉中学校・千葉高等学校 学校長 佐 藤 宰 様  
千葉県立千葉高等学校同窓会 会長 鈴 木 一 郎 様
- 3 乾 杯

===== 会食・懇談・アトラクション =====

- 4 母校に伝わる歌を声高らかに歌う会  
歌唱指導：沢田 茂(S40)・池田 知行(S54)・中嶋 大智(H11)  
アコーディオン演奏：椎名 嘉一(S27)・ピアノ伴奏：武井 典子(S59)
- 5 豪華景品?の当る大抽選会
- 6 校歌斉唱
- 7 中締めを兼ねた閉会のことば
- 8 散 会

## 第1号議案

## 平成30年度事業報告

平成30年5月28日	平成30年度第1回役員会通知発送	60名
平成30年6月15日	第1回役員会を開催（ホテルポートプラザちば）	参加18名
平成30年6月19日	平成30年度第10回総会懇親会通知発送	810名
平成30年7月21日	平成30年度第10回総会並びに懇親会を開催	
	会場：ホテルポートプラザちば	
	参加者 2名 会員 65名	

## 平成30年度千葉葛城会決算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

## 収入の部

科目	30年度予算	30年度決算	増減	摘要
前年度繰越金	708,847	708,847	0	
総会参加費	900,000	622,000	-278,000	総会参加者収入
役員会参加費	54,000	51,000	-3,000	役員会等参加食事代
寄付金・ご祝儀	20,000	20,000	0	来賓等ご祝儀
通信維持会費	100,000	185,920	85,920	通信費維持会費振込金
雑収入	153	3	-150	銀行預金利息
収入合計	1,783,000	1,587,770	-195,230	

## 支出の部

科目	30年度予算	30年度決算	増減	摘要
事務局費	264,400	185,219	-79,181	
事務局経費	0	0	0	
郵送通信費	246,400	185,219	-61,181	総会理事会案内印刷・はがき代
印刷・文具費	5,000	0	-5,000	封筒・領収証等
振替手数料	3,000	0	-3,000	支払時振込手数料
事務局備品・経費	10,000	0	-10,000	胸章
役員会関係費	155,000	79,856	-75,144	
会議室料	20,000	0	-20,000	
会議食事費	95,000	79,856	-15,144	
慶弔・交際費	40,000	0	-40,000	
総会関係費	782,800	581,856	-200,944	
総会懇親会費	696,800	522,100	-174,700	ホテル飲食、景品代
総会資料	26,000	27,756	1,756	総会資料、名札、受付台帳等作成
総会諸経費	60,000	32,000	-28,000	アトラクション
会員活動補助費	100,000	0	-100,000	
活動補助	100,000	0	-100,000	
母校同窓会支援	0	0	0	
支出計	1,302,200	846,931	-455,269	
予備費	480,800			
次年度繰越金		740,839		
支出合計	1,783,000	1,587,770		

諸帳簿並びに領収証等帳票を精査しましたところ、適正に処理をされていたことを報告します。

令和元年5月25日

監査役 伊藤貞雄<sup>㊞</sup>

## 維持・通信費 寄付者一覧

平成31年3月31日現在

年月日	科目	摘要	郵便局口座振込み		
			預け入れ	引き出し	預金残高
H30.04.01	前期繰越金	前期より繰越			192,000
H30.06.22	通信費収入	星野 智史 (昭和51年卒)	920		192,920
	通信費収入	小坪 猛夫 (昭和27年卒)	1,000		193,920
	通信費収入	高橋 淳一 (昭和35年卒)	2,000		195,920
	通信費収入	長谷川 康行 (昭和44年卒)	2,000		197,920
	通信費収入	奥田 桂子 (昭和51年卒)	3,000		200,920
	通信費収入	齋藤 千廣 (昭和30年卒)	1,000		201,920
H30.06.25	通信費収入	瀬田 寛子 (昭和32年卒)	1,000		202,920
	通信費収入	中村 弘 (昭和28年卒)	1,000		203,920
H30.06.26	通信費収入	長谷川 和敏 (昭和39年卒)	1,000		204,920
	通信費収入	合間 亨 (昭和33年卒)	1,000		205,920
	通信費収入	海瀬 文章 (平成2年卒)	2,000		207,920
H30.06.27	通信費収入	山室 三枝子 (昭和47年卒)	1,000		208,920
	通信費収入	三井 芳夫 (昭和39年卒)	3,000		211,920
	通信費収入	宮間 瑛治 (昭和40年卒)	10,000		221,920
H30.06.28	通信費収入	松鶴 文靖 (昭和57年卒)	3,000		224,920
	通信費収入	阿部 浩生 (昭和56年卒)	1,000		225,920
H30.07.02	通信費収入	林 美智代 (昭和40年卒)	1,000		226,920
	通信費収入	篠崎 玄幸 (昭和33年卒)	10,000		236,920
	通信費収入	村松 成夫 (昭和33年卒)	1,000		237,920
H30.07.03	通信費収入	今井 茉理 (平成12年卒)	1,000		238,920
H30.07.04	通信費収入	植草 勝久 (昭和38年卒)	1,000		239,920
H30.07.05	通信費収入	佐川 信夫 (昭和33年卒)	100,000		339,920
	通信費収入	木村 日出夫 (昭和31年卒)	1,000		340,920
	通信費収入	高瀬 美咲 (昭和47年卒)	2,000		342,920
	通信費収入	櫻井 俊明 (昭和46年卒)	2,000		344,920
H30.07.06	通信費収入	宮原 啓史 (平成4年卒)	1,000		345,920
H30.07.09	通信費収入	岩澤 とし子 (昭和33年卒)	1,000		346,920
	通信費収入	相川 正樹 (昭和44年卒)	1,000		347,920
	通信費収入	高橋 隆一 (昭和47年卒)	10,000		357,920
H30.07.13	通信費収入	塩本 由子 (昭和32年卒)	1,000		358,920
	通信費収入	澤 喜藏 (昭和39年卒)	1,000		359,920
	通信費収入	小川 裕由 (昭和62年卒)	5,000		364,920
H30.07.23	通信費収入	沢田 茂 (昭和40年卒)	1,000		365,920
H30.07.24	通信費収入	須藤 輝男 (昭和51年卒)	3,000		368,920
	通信費収入	松本 俊幸 (昭和55年卒)	1,000		369,920
	通信費収入	那須 初江 (昭和41年卒)	1,000		370,920
H30.08.06	通信費収入	小林 礼子 (昭和32年卒)	2,000		372,920
H30.08.21	通信費収入	倉澤 由和 (昭和49年卒)	2,000		374,920
H31.01.10	通信費収入	今井 茉理 (平成12年卒)	1,000		375,920
現金にてご寄付					
H30/7/31	通信費収入	小西 鋼一 (昭和30年卒)	2,000		377,920
残高合計	H30.4.1~H31.3.31		185,920		

第2号議案

平成31年度事業計画案

令和元年5月10日 平成31年度第1回役員会通知発送 60名  
 令和元年5月24日 第1回役員会を開催(ホテルポートプラザちば) 参加16名  
 令和元年5月30日 平成31年度第11回総会懇親会通知発送 800名  
 令和元年7月6日 平成31年度第11回総会並びに懇親会を開催  
 会場：ホテルポートプラザちば  
 参加者 ご来賓 4名 会員 75名

平成31年度千葉葛城会予算(案)

平成31年4月1日～令和2年3月31日

収入の部

科 目	31年度予算	30年度予算	30年度決算	摘 要
前年度繰越金	740,839	708,847	708,847	
総会参加費	700,000	900,000	622,000	総会参加者収入
役員会参加費	51,000	54,000	51,000	役員会等参加食事代
寄付金・ご祝儀	20,000	20,000	20,000	総会ご来賓等ご祝儀
通信維持会費	80,000	100,000	185,920	通信費維持会費振込金
雑収入	161	153	3	
収入合計	1,592,000	1,783,000	1,587,770	

支出の部

科 目	31年度予算	30年度予算	30年度決算	摘 要
事務局費	196,200	264,400	185,219	
事務局経費	0	0	0	
郵送通信費	179,200	246,400	185,219	
印刷・文具費	5,000	5,000	0	封筒・領収証等
振替手数料	2,000	3,000	0	支払時振込手数料
事務局備品・経費	10,000	10,000	0	
役員会関係費	145,000	155,000	79,856	
会議室料	20,000	20,000	0	
会議食事費	85,000	95,000	79,856	
慶弔・交際費	40,000	40,000	0	
総会関係費	674,000	782,800	581,856	
総会懇親会費	597,000	696,800	522,100	
総会資料	27,000	26,000	27,756	
総会諸経費	50,000	60,000	32,000	アトラクション出演料
会員活動補助費	50,000	100,000	0	
活動補助	50,000	100,000	0	
母校同窓会支援	0	0	0	
支出計	1,065,200	1,302,200	846,931	
予備費	526,800	480,800	740,839	30年度決算額は次期繰越金
支出合計	1,592,000	1,783,000	1,587,770	

## 平成31年・令和2年度 千葉葛城会役員案

<p><b>会 長</b> 本間 充武 昭38年卒</p> <p><b>副会長</b> 畠山 一雄 昭39年卒 三井 芳夫 昭39年卒 櫛部 健夫 昭44年卒</p> <p><b>事務局長</b> 阿佐 幸雄 昭35年卒</p> <p><b>会 計</b> 浅賀 禎久 昭60年卒</p> <p><b>会計監査</b> 伊藤 貞雄 昭34年卒</p> <p><b>参 与</b> 安田 敬一 昭24年卒 千葉 滋胤 昭26年卒 白井 日出男 昭32年卒 井谷 延夫 昭32年卒</p> <p><b>常任幹事</b> 田那村 宏 昭36年卒 永田 忠以 昭37年卒 秋葉 直人 昭45年卒 櫻井 俊明 昭46年卒 小早川 雄司 昭54年卒 門山 宏哲 昭58年卒 塙 良太郎 昭60年卒</p> <p><b>事務局</b> 嶋田 政昭 昭49年卒</p>	<p><b>学年幹事</b></p> <p>中台 誠 昭32年卒</p> <p>大野 実 昭33年卒 昭34年卒</p> <p>小川 善之 昭35年卒</p> <p>信田 平 昭35年卒</p> <p>長谷川 友善 昭36年卒 昭37年卒 昭38年卒</p> <p>西村 信一 昭39年卒</p> <p>林 孝二郎 昭39年卒</p> <p>長谷川 章 昭40年卒 昭41年卒 昭42年卒 昭43年卒 昭44年卒</p> <p>水谷 正彦 昭45年卒 昭46年卒</p> <p>澤田 梅子 昭47年卒</p> <p>豊田 淳郎 昭47年卒</p> <p>中臺 公明 昭48年卒</p> <p>羽田 徳治 昭49年卒</p> <p>園部 創 昭50年卒</p> <p>田中 隆志 昭50年卒</p> <p>佐久間 芳智 昭50年卒</p>	<p>(空白年度は未定)</p> <p>奥田 桂子 昭51年卒</p> <p>須藤 輝男 昭51年卒 昭52年卒</p> <p>高木 恒明 昭53年卒</p> <p>池田 知行 昭54年卒</p> <p>奥山 謙二 昭55年卒</p> <p>松本 俊幸 昭55年卒</p> <p>本田 雅秀 昭56年卒</p> <p>鈴木 卓 昭57年卒 昭59年卒</p> <p>増田 淳 昭61年卒</p> <p>高橋 成樹 昭62年卒 昭63年卒 平元年卒</p> <p>宮下 賢一 平2年卒 平3年卒 平4年卒 平5年卒 平6年卒 平7年卒 平8年卒 平9年卒 平10年卒</p> <p>東 寿浩 平12年卒</p> <p>川崎 仁寛 平13年卒</p>
--	--	---

〒260-0001 千葉市中央区都町1-13-16 (有)プリントピア内  
TEL.043-233-9671 FAX.043-233-9666 E-mail: chibasibu@gmail.com

## 第11回 千葉葛城会参加者名簿

会員敬称略 令和元年7月6日現在

No.	席	お名前	卒年	〒	自宅住所	勤務先・所属
1	A	佐藤 宰 様		260-0853	千葉市中央区葛城1-5-2	千葉県立千葉中学校・高等学校 校長
2	A	鈴木 一郎 様	昭35	263-0015	千葉市稲毛区作草部	県立千葉高等学校同窓会会長
3	E	森 茂 様	昭44	297-0213	長生郡長柄町徳増	県立千葉高等学校同窓会 副会長
4	E	戸谷 久子 様	昭46	290-0074	市原市東国分寺台	県立千葉高等学校同窓会 副会長
5	A	能 勢 仁	昭26	264-0017	千葉市若葉区加曾利町	(有)ノセ事務所代表取締役
6	A	金 親 道 生	昭27	260-0844	千葉市中央区千葉寺町	
7	A	北原 健二郎	昭27	264-0006	千葉市若葉区小倉台	
8	A	椎 名 嘉 一	昭27	260-0001	千葉市中央区都町	
9	A	花 澤 衛	昭28	260-0028	千葉市中央区新町	花澤電装株式会社
10	A	早 川 英 明	昭30	263-0024	千葉市稲毛区穴川	ニュー・ローク
11	B	木村 日出夫	昭31	267-0061	千葉市緑区土気町	
12	B	高 橋 宏	昭31	266-0005	千葉市緑区誉田町	
13	B	井 谷 延 夫	昭32	260-0017	千葉市中央区要町	
14	B	白井 日出男	昭32	262-0023	千葉市花見川区検見川町	
15	B	中 台 誠	昭32	263-0043	千葉市稲毛区小仲台	
16	B	中 村 敏 信	昭32	299-3251	大網白里市大網	
17	B	伊 藤 俊 介	昭33	260-0822	千葉市中央区蘇我	千年杉建設
18	B	大 塚 英 夫	昭33	289-1115	八街市八街ほ	ペット霊園 ワンニャンの杜
19	C	大 野 實	昭33	263-0031	千葉市稲毛区稲毛東	
19	B	西 川 泰 夫	昭33	263-0034	千葉市稲毛区稲毛	上智大学名誉教授・放送大学客員教授
19	B	村 松 成 夫	昭33	284-0015	四街道市千代田	
20	B	安 田 重 実	昭33	264-0021	千葉市若葉区若松町	学校法人信愛学園 理事長
21	C	栗飯原 源治	昭34	264-0023	千葉市若葉区貝塚町	
22	C	伊 藤 貞 雄	昭34	264-0004	千葉市若葉区千城台西	
23	C	小 林 榮 司	昭34	262-0032	千葉市花見川区幕張町	
24	C	鶴 岡 啓 一	昭34	264-0017	千葉市若葉区加曾利町	
25	C	阿 佐 幸 雄	昭35	263-0051	千葉市稲毛区園生町	(有)プリントピア
26	C	川 口 正 光	昭35	284-0025	四街道市さちが丘	
28	C	信 田 平	昭35	263-0034	千葉市稲毛区稲毛	
29	C	渡 辺 孝 雄	昭35	290-0081	市原市五井中央西	渡辺歯科医院
30	D	田 那 村 宏	昭36	260-0021	千葉市中央区新宿	田那村整形外科
31	D	長谷川 友善	昭36	277-0005	柏市柏	(株)イ・クリエイト・ワールド
32	D	林 正 寿	昭36	290-0202	市原市福増	早稲田大学 名誉教授
33	D	吉 田 孝 雄	昭36	260-0032	千葉市中央区登戸	大同興業(株)
34	D	永 田 忠 以	昭37	260-0854	千葉市中央区長洲	みたま教本庁 交心流神道交心会会長
35	D	加 藤 紘	昭38	263-0033	千葉市稲毛区稲丘町	加藤紘法律事務所(弁護士)古流武術立身流
36	D	小 出 英 夫	昭38	264-0032	千葉市若葉区みつわ台	自営業
37	A	本 間 充 武	昭38	260-0007	千葉市中央区祐光	(株)ダイサン 代表取締役社長
38	D	山 本 康 昭	昭38	263-0042	千葉市稲毛区黒砂	(株)センエー 代表取締役会長

No.	席	お名前	卒年	〒	自宅住所	勤務先・所属
39	E	荒井 薫	昭39	263-0051	千葉県稲毛区園生町	日本化学キューエイ株式会社
40	E	小川 直哉	昭39	266-0007	千葉県緑区辺田町	(公財)千葉県スポーツ協会
41	E	佐久間 雄二	昭39	261-0011	千葉県美浜区真砂	
42	E	畠山 一雄	昭39	260-0807	千葉県中央区松ヶ丘町	学校法人畠山学園 はまの幼稚園
43	A	林 孝二郎	昭39	260-0012	千葉県中央区本町	(株)かずさアカデミアパーク 代表取締役社長
44	D	三井 芳夫	昭39	260-0854	千葉県中央区長洲	(有)みつい 代表取締役
45	F	伊藤 公夫	昭40	221-0001	横浜市神奈川区西寺尾	伊藤忠(いすゞ)
46	F	江村 明	昭40	260-0027	千葉県中央区新田町	
47	F	沢田 茂	昭40	260-0031	千葉県中央区新千葉	
48	F	長谷川 章	昭40	260-0844	千葉県中央区千葉寺町	
49	F	林 美智代	昭40	266-0007	千葉県緑区辺田町	
50	F	廣瀬 彰	昭40	261-0003	千葉県美浜区高浜	
51	F	宮間 暎治	昭40	260-0016	千葉県中央区栄町	
52	G	今井 和彦	昭41	266-0005	千葉県緑区誉田町	海浜不動産株式会社 顧問
53	G	金親 博榮	昭41	265-0072	千葉県若葉区谷当町	(有)カネオヤ「わたしの田舎」谷当工房代表オートランド千葉
54	G	那須 初江	昭41	264-0017	千葉県若葉区加曽利町	
55	G	林 真一	昭41	275-0022	習志野市香澄	(有)大川海運 営業部参与
56	E	相川 正樹	昭44	266-0023	千葉県緑区茂呂町	
57	E	秋葉 直人	昭45	284-0001	四街道市大日	新生産業株式会社
57	E	水谷 正彦	昭45	260-0021	千葉県中央区新宿	安房地域医療センター
58	E	櫻井 俊明	昭46	260-0854	千葉県中央区長洲	櫻井ビジネス法務事務所 所長
59	G	岸 高 清	昭47	263-0023	千葉県稲毛区緑町	(公社)日本ライフル射撃協会
60	G	澤田 梅子	昭47	260-0814	千葉県中央区南生実町	ギャレックスチバ(株)
61	G	山下 清俊	昭47	266-0031	千葉県緑区おゆみ野	(株)東邦化学研究所 代表取締役
62	H	中台 公明	昭48	264-0024	千葉県若葉区高品町	空間情報サービス(株)
63	H	嶋田 政昭	昭49	264-0028	千葉県若葉区桜木	嶋田電気商会
64	H	橋本 修	昭49	262-0045	千葉県花見川区作新台	
65	H	橋本 清	昭49	272-0812	市川市若宮	新井・橋本・保坂国際特許事務所
66	H	園部 創	昭50	264-0015	千葉県若葉区大宮台	(株) Loop
66	H	鈴木 清史	昭50	260-0032	千葉県中央区登戸	JST科学技術振興機構
67	H	高木 恒明	昭53	260-0801	千葉県中央区仁戸名町	西岬観光株式会社
68	H	池田 知行	昭54	275-0026	習志野市谷津	ちば債権回収株式会社
69	H	小早川 雄司	昭54	261-0001	千葉県美浜区幸町	千葉市役所
70	I	阿久津 昌彦	昭57	270-1166	我孫子市我孫子	住友信託銀行
71	I	鈴木 卓	昭57	260-0004	千葉県中央区東本町	株式会社コイケテック 管理部
72	I	松嶋 文靖	昭57	189-0022	東京都東村山市野口町	第一生命(株)新宿総合支社
73	I	門山 宏哲	昭58	260-0032	千葉県中央区登戸	門山総合法律事務所所長 衆議院議員
74	I	武井 典子	昭59	263-0016	千葉県稲毛区天台	
75	I	山本 誠司	昭59	264-0031	千葉県若葉区愛生町	習志野市立津田沼小学校
76	I	小野 雅康	昭60	263-0021	千葉県稲毛区轟町	(株)千葉銀行
77	F	高橋 美樹	平09	261-0011	千葉県美浜区真砂	(株)ベネッセコーポレーション
78	F	中嶋 大智	平11	267-0066	千葉県緑区あすみが丘	(公財)鉄道総合技術研究所 鉄道力学研究部車両力学研究室
79	F	東 寿浩	平12	272-0111	市川市妙典	株式会社日本能率協会マネジメントセンター

# 母校に伝わる歌を声高らかに歌う会

歌唱指導：沢田 茂(S40)・池田 知行(S54)・中嶋 大智(H11)

アコーディオン演奏：椎名 嘉一(S27) ピアノ伴奏：武井 典子(S59)

## 〈椎名嘉一 しいな よしかず〉プロフィール

千葉、鉾子で楽器店を営む家に生まれ、音楽に親しむ。10代から作曲、競輪場勤務の傍ら編曲・アコーディオンなどの楽器演奏・歌唱と研鑽を続け、島倉千代子の歌うレコードも発売されている。逍遙歌は千葉一高在学時の作品。

## 〈武井典子 たけいのりこ〉プロフィール

桐朋学園大学ピアノ科卒業、千葉大学大学院教育学研究科修了。現在は後進の指導に当たるほか、ソロ・室内楽等での演奏活動も行う。千葉高卒の演奏家の方々とも共演多数。教室に通う千葉高出身の方もいて、ご縁の深さを実感している。

# 千葉一高頌歌

白鳥省吾 作詞  
外山国彦 作曲

1. ひ か り あ - り わ れ を よ ぶ も の  
 1. { ひ か り あ - り わ れ を よ ぶ も の  
 2. { ち か わ ら あ - り き し ん に り の い ず の み

か れ つ ら ぎ の あ か る き お か た べ  
 は て い ろ し う の ふ じ は の れ た ぺ  
 け ん し さ ん の き い ぼ き も の あ み た ち ら に し

ゆ た か な る ま な び の ま - ど  
 た の かし な かる ま な び の そ - の

お お い ち (う) ち ば い ち (う)

## 千葉一高頌歌

白鳥省吾 作詞  
外山国彦 作曲

- 一、光あり 吾れを呼ぶもの  
 葛城の 明るき丘辺  
 洋々の 海のかなたに  
 玲瓏の 富士は晴れたり  
 豊かなる 学びの窓  
 お、一高 一高 千葉一高
- 二、力あり 吾れに湧くもの  
 果てしなき 希望の道に  
 極みなき 真理の泉  
 研鑽の 意気も鮮らし  
 楽しかる 学びの園  
 お、一高 一高 千葉一高
- 三、栄えあり 天に咲くもの  
 校風の 凜たるところ  
 颯々の 松籟清し  
 青春の 歓喜に仰ぐ  
 ひらけたる 世界の空  
 お、一高 一高 千葉一高

# 千葉一高逍遙歌

楠原 繁次郎 作詞  
椎名 嘉一 作曲

*Andante*  
*mf* *mf*

すゝきほたかく さやぐとき つきかげわ-けて ゆくところ

*mp* *mf* *p* *dolce*

すだくねすでに こえたえて われらのお-もい きくごとし あゝ

1. *f* 2.

く いなき や - ま - な - び - や - よ ち - あ - ら -

3. *DC.*

ん き - に - よ - ぶ - つ き に よ ぶ

## 千葉一高逍遙歌

楠原繁次郎 作詞  
椎名嘉一 作曲

- 一、すゝき穂高く さやぐ時  
月影わけて 行くところ  
すだく音すでに 声絶えて  
われらの想い 聴く如し  
あゝ悔なきや 学舎よ
- 二、自由の印 色あせて  
行く手に霧は まだ濃くも  
祈る心をよせゆけば  
遙か彼方にほのぼのと  
明けゆく望み 幸あらん
- 三、あかねに燃ゆる 秋空に  
断雲流れ 果てもなし  
夕月寒く うそぶけば  
若き悲哀の 溢ふれきて  
ゆらぐすゝきに 月に呼ぶ

# 戦歌 1

か つ ら ぎ けん じ - い ざ や い ざ  
た た か わ ん かな - と き い た る  
た た か わ ん かな と き い た る  
か つ ら ぎ けん じ い ざ や い ざ

The musical score for '戦歌 1' consists of four staves of music in G major (one sharp) and 2/4 time. The lyrics are written below the notes. The first staff has a fermata over the final note. The second and third staves also have fermatas. The fourth staff ends with a double bar line.

# 戦歌 2

ふ ら く の じん よう どう どう い や た か し  
て っ ぺ き の し ゅ び あ - れ じ し - の く る え る む れ も  
せ き し ゅ も て く - い て ど め ん -

The musical score for '戦歌 2' consists of three staves of music in G major (one sharp) and 2/4 time. The lyrics are written below the notes. The first staff has a fermata over the final note. The second and third staves also have fermatas. The third staff ends with a double bar line.

# 凱旋歌

そ ら た ち こ め し じ ん う ん を  
 は ろ う は い き に か ぜ は な り  
 き ん こ と う と う い さ ま し く  
 が え い を さ し て た ち い で ぬ

## 凱旋歌

- 一、空たちこめし陣雲も  
 掃ふ旃旗に風はなり  
 金鼓々々勇ましく  
 牙營を指して立ちいでぬ
- 二、降魔の利劍鍛へてし  
 葛男の子の雄叫びに  
 螳螂斧を振ふとも  
 龍車の進み如何にせん
- 三、勝數已に我にあり  
 荒びし敵も完膚なく  
 劍を収め旗を巻き  
 今ぞ下りぬ軍門に
- 四、金冠燦と輝きぬ  
 乾坤ゆるぐ威聲も  
 葛の葉蔭に静まりて  
 流も清し都川

## 戦歌 1

- 一、葛城健兒いざやいざ  
 戦はん哉時機至る  
 戦はん哉時機至る  
 葛城健兒いざやいざ
- 二、覇者の響の冠に  
 榮光の歴史を飾るべく  
 戦はん哉時機至る  
 葛城健兒いざやいざ

## 戦歌 2

- 一、不落の陣容堂々  
 いや堅し鐵壁の守備  
 荒れ獅子の狂へる群も  
 赤手もて食ひ止めん
- 二、一團の襲撃風生  
 いや激し破竹の勢  
 進路さながら防備の敵を  
 蹴散らせよ我が野球團

# 千葉一高学生歌

長谷川 泉 作詞  
山本 金雄 作曲

寮歌風に

かつらぎがおか - きりはれて ふがくのかむり しろたえに たかき - のぞみを  
そでが - うらべ に つきさえて なぎさのぎんば ひそやかに ちえの - さとしを

かたどりて 1.2. あい かんつきぬ さんしゅんじゅう  
ささやきて

る て - ん の す が た き  
ま こ - と の た び じ は

び - し く も と も - が き か た く む す び あ  
る - け く も あ こ - が れ ふ か く む ね に ひ

い わ か き ち か い に も ゆ る わ か き ほ ほ ま こ と の い ろ と  
め つ た え を つ げ る わ か き い き は な か ん ば せ に

# 千葉一高学生歌

長谷川 泉 作詞  
山本 金雄 作曲



一、葛城が丘 霧晴れて

富嶽の冠 白妙に

高き希望を 形どりて

哀歎尽きぬ 三春秋

流転の姿 厳しくも

友垣固く 結び合い

誓に燃ゆる 若き頬

誠の色と 君見ずや

二、袖が浦辺に 月冴えて

渚の銀波 ひそやかに

知恵の啓示を 囁きて

哀歎尽きぬ 三春秋

真理の旅路 遙けくも

憧憬深く 胸に秘め

伝統を継げる 若き意気

花かんばせに 匂わずや

# 千葉一高バラッド

酒井森之介 作詞  
景山 雄 作曲

1. えい やら やっ こ ら い し は こ び  
 2. えい やら やっ こ ら い し は こ び  
 3. えい やら やっ こ ら い し は こ び

ひじ りー の い い つ け い そ が し く  
 しあ りー の わ い わ ざ わ い ひ と が し と く  
 まあ りー の わ い お か お も き に な と ら で  
 ね り  
 や  
 ま  
 ま  
 り  
 り  
 し

か つ ら ん ぎ や ま と き ん の み ね  
 さ だ め る ぎ か ほ り だ し よ が あ け  
 い し べ を ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー  
 り  
 り  
 し

む す ぶ お く く め じ じ の は し や づ ご く り  
 お す ず か お は く は た の じ て の い み く し や め づ ご く り  
 き ず ぐ は た の じ て の い み く し や め づ ご く り  
 り  
 り  
 し

## 千葉一高バラッド

葛城の一言主之大神にことよせて  
 校風の実直を称えるバラッド

酒井森之介 作詞  
景山 雄 作曲

一、えいやらやつこら石運び

聖の言いつけ急がしく

葛城山と金の峰

結ぶ久米路の橋造り

四、えいやらやつこら今はや

我を忘れる夜もすがら

なぜに昼出て働かぬ

ほうりこまれた谷の底

二、えいやらやつこら何とした

しあわせわざわい一言で

定める神も夜が明けりや

おん容貌 恥じて宮籠り

五、えいやらやつこら露しぐれ

金の継橋夢の中

さゝやく声に眼を覚ましや

笑くぼこぼれる銀の河

三、えいやらやつこら星明り

まずいお顔も気にならぬ

石を掘り出し思うまま

築くはたのしい久米の橋

# 千葉高等学校校歌

(昭和23年9月15日制定)

松原至大 作詞  
(明治43年本校卒)

弘田龍太郎 作曲  
(東京音楽学校教授)

$\text{♩} = 112$   
*mf*

1. ソ デ ガ ウー ラー ベ ノ ア ケ クー レ ニ  
2. く ず の はー しー げ き お か とー い う  
3. ト オ キ レー キー シ ハ チ カ ラー ナ リ

ナ ー ミ ジ ハ ル カ ニ ア オ ー ギー ミ ル  
ふ ー る き ゆ か り の ち に ー うー ま れ  
ボ コウ ノ ホ マ ー レ ミ ニ ー ツー ケ テ

*mf*

フ ー ジ ノ タ カ ネ ノ ス ナ オ サ ハ ワ ー レ ー ラ ケン  
た だ し き ぶ ー ン か お し す す め わ ー こ う ど い  
セ ー カ イ ヘ イ ワ ノ タ ミ ト ナ リ キョウ ヲ ー ア ユ

*f*

ジで マ ノてン イいワ ノくレ ーチ ナ り  
ーしゅ なん じゅう  
ーラ ミ ナ

一、 袖が浦辺の 明け暮れに、  
波路はるかに 仰ぎ見る  
富士の高根の すなおさは、  
われ等健児の 生命なり。

二、 葛の葉しげき 岡という  
古きゆかりの 地に生まれ、  
正しき文化 推し進め、  
若人出でて 幾春秋。

三、 遠き歴史は 力なり、  
母校のほまれ 身につけて、  
世界平和の 民となり、  
今日を歩まん われ等みな。

# 千葉中學校校歌

(大正4年制定)

千葉中學校 作詞

楠見恩三郎 作曲

(東京音樂學校教授)

(1) クモニ ソ ビ ユ ル フジノ タ ー カ ネ ソラニ ツ ラ ナ ル  
 (2) みどり お ほ へ る くずは の ー を か な が れ た ゆ ま ぬ  
 (3) ユキニ ミ ガ ケ ル ココロ ノ ー タ マ ホタル テ ラ セ ル

ソデノ ウ ラ ナ ミ ハルケ キ コ ノ ー ウ ミ タ フ ト キ コ ノ ー ヤ マ  
 みやこ が は ナ ミ フ カ キ コ ノ ー ミ ヅ タ フ ト キ コ ノ ー ヤ マ  
 マナビ ノ オ ホ ズ タ ド ル ヤ ワ ガ ー ミ チ マ モ ル ヤ ワ ガ ー タ マ

ス メ オ ホ ギ ー ミ ノ ヒ ロ キ メ 一 グ ミ ヤ マ ヨ リ タ カ ク  
 さ は な ほ る い ー さ を こ も れ ー る ま な び や い く し ほ そ め て  
 マ ナ ビ ノ ト ー モ ノ カ タ キ ノ ー ー ズ ミ ヤ ア ツ サ ニ キ タ ヘ

ウ ミ ヨ リ リ フ カ シ イ ト モ カ シ コ ミ ツ カ ヘ マ ツ ラ ン  
 み ど ム ム サ ニ コ リ テ ビ ヒ ニ ソ シ ミ ツ こ た へ ま ま ツ つ ら ン  
 サ ム サ ニ コ リ テ ビ ヒ ニ ソ シ ミ ツ こ た へ ま ま ツ つ ら ン

い い ザ ざ い い ザ ざ い い ザ ざ ー や や  
 い い ザ ざ い い ザ ざ い い ザ ざ ー ー

一、雲に聳ゆる富士の高根

空に連なる袖の浦波、

遙けきこの海尊きこの山、

皇大君の廣き恵、

山より高く海より深し、

いとも畏み仕へまつらん、

いざいざいざや。

二、緑覆へる葛葉の岡、

流れたゆまぬ都川水、

深きは其水繁きは其蔭、

さはなる功こもれる學舎、

幾入そめて縁はまさる、

教へつゝしみ應へまつらん、

いざいざいざや。

三、雪にみがける心の玉、

螢てらせる學の大略、

たどるや我か道守るや我か魂、

學の友のかたき望み、

暑さに来たへ寒さに凝りて、

日々にいそしみつとめはげまん、

いざいざいざや。